

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
よりよい未来づくりに参画しよう		第5章③ P. 140	
教科(領域)等	社会科	学年(分野)	3年生公民的分野

1. 教材のねらいと概要

18歳から選挙権を得るようになり、今後ますます主権者として、より良い地域づくりに参画しようとする意識を育む必要がある。

18歳選挙権が実施された最初の国政選挙である平成28年の参議院選の記事と、投票率の推移のデータを掲載している。政治に関心を持って、責任と自分で判断して投票できるような意識を育むとともに、投票率が低い現状について考えさせたい。

山梨県の会計予算のデータを掲載している。山梨県の財政の特徴や課題点について考察させるとともに、各地町村の財政についても調べさせたい。

2. 活用例

①

教科名等	社会科公民的分野	単元(題材)名等	現代の民主政治と社会	時間
活用場面		活用のポイント		
選挙についての学習において、その課題を考えさせる場面で活用する。	18歳選挙権の移行のねらいと、成果や課題について、資料をもとに考えさせる。			50分

②

教科名等	社会科公民的分野	単元(題材)名等	現代の民主政治と社会	時間
活用場面		活用のポイント		
地方財政についての学習において、その課題について考える。	地方財政の特徴と課題を身近な山梨県を例に具体的に理解させる。また、各市町村の財政も、広報等の資料を活用してグラフを作成させ、課題を考えさせる。18歳選挙権の移行のねらいと、成果や課題について、資料をもとに考えさせる。			50分

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P. 140 	政治に参画するって具体的に何をすればいいのかな。	政治と自分たちの生活の関わりを実感させることが、まず、大切である。これまでの歴史の学習等を生かして、選挙の意義について理解させたい。	選挙がもっとも基本的、直接的な政治参加の方法である。
P. 140 	新聞を読むと、18歳より19歳の投票率の方が低かったんだね。	新聞記事から着眼点を読み取らせたい。山梨県の人口の移動の状況と関連させて考えさせたい。	略
P. 140 	18・19歳の人たちは、どんな気持ちで投票したか、投票しなかった人はなぜ投票しなかったのでしょうか。	有権者の立場になって投げかけについて予想させ、実際にインタビューをして、確かめる活動をしてみたい。	略
P. 140 	山梨県はどのようにお金を集めて、どんなことにお金を使っているのでしょうか。財政に何か課題はないのでしょうか。	公民の既習知識を生かして、山梨県の財政について理解させ、課題は何か考えさせたい。	グラフ中の用語の意味を復習し、自主財源の割合はどうか、県債の割合はどうか、教育費や公債費、土木費や民生費の割合はどうか、等を考えさせたい。
P. 140 	なぜ、18歳より19歳の投票率が低くなったのでしょうか。	学習のまとめ。学習課題の振り返りを行う。	19歳は、住民票を移さず、県外の大学等に進学している学生が多いと考えられる。投票のために地元に戻ってこなかったと思われる。
P. 140 	山梨県の財政を、他の都道府県の財政と比べてみましょう。また、自分が住んでいる市町村の財政も調べてみましょう。	教科書等に記載されている同様なグラフと比較することで、財政についての理解を深めさせたい。また、より身近な市町村の財政についても理解させたい。	略

4. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・编者	発行年
山梨日日新聞記事	山梨日日新聞社		2016. 7. 11
選挙啓発冊子「未来へのステップ」	山梨県選挙管理委員会		2015年版
「山梨県の広報誌 ふれあいvol148」	山梨県広聴広報課		2016. 4. 1
参考ホームページ			
山梨県公式ホームページ → 山梨県広報誌 → ふれあい月刊号(バックナンバー)			
山梨県選挙管理委員会 → 選挙啓発冊子「未来へのステップ」			